

# 同業のイナリサーチをTOBで完全子会社へ



当社は2022年7月20日に、非臨床試験を製薬企業等から受託するCRO事業(非臨床事業)を主力事業とする株式会社イナリサーチ(以下、イナリサーチ)の株式公開買付け(TOB)を実施しました。イナリサーチは当社の連結子会社となり、イナリサーチの2022年7月以降の業績が当社グループの業績に加わっております。

イナリサーチは、中央アルプスと南アルプスに囲まれた自然豊かな長野県伊那市に本社を構えており、1974年7月の創業以来、品質と信頼性にこだわり、技術・知見を磨いてきた企業です。医薬品開発支援における非臨床ステージでフルサービスを提供していますが、高度な知識と技術が必要で世界でも数力所しか実施できない向精神薬の依存性を調べる依存性試験など、特殊な試験の実施が可能なCROとしても世界的に知られています。近年ではグローバルに顧客を獲得、海外売上げが5割に迫る勢いで拡大しており、東アジア、特に韓国市場で強みを発揮しています。



地域・社会への貢献という点では、本社・研究施設の一部を「信州大学遺伝子・細胞治療研究開発センター」に提供し、日本が遅れている遺伝子治療法の開発をサポートしています。

動物福祉に対する取組みについても実績が高く、同社は2005年2月に動物福祉の国際認証機関であるAAALAC Internationalより日本初となる「完全認証」を取得しています。AAALAC International(国際実験動物管理公認協会)は、米国内に本部を置き、科学における動物の人道的な管理を推進する観点から実験動物施設の評価を行う唯一の国際的独立調査機関です。AAALAC Internationalによる認証を取得した施設は、3年に1回、施設訪問により再評価を受けますが、イナリサーチは継続して「完全認証」の評価を得ています。



先取的な取組みとしては、米国FDAが世界に先駆けて導入したSENDという新薬申請時の非臨床試験データ標準フォーマットに対する変換対応サービスに取組み、国内CROでトップクラスの実績となっています。米国FDAに新薬を申請する製薬企業等は、SEND申請にミスがあるとFDAからの差戻し(受理拒否)による時間的ロスと経済的損失が発生するため同社にSEND変換を依頼する国内外の顧客が着実に増えています。

当社はイナリサーチを一体として事業運営を行うことにより、以下を目指しております。まず顧客層の多様化を実現します。当社は旧来、国内大手製薬企業に加え、欧米を中心とした企業を顧客としてきました。イナリサーチは、東アジアの顧客に強みを持っており、当社とは地理的な補完関係が期待できます。また、規模拡大効果により試験の開始時期について顧客の希望に柔軟に応えることができます。加えて相互の施設の強みなどのノウハウを共有することでより幅広い試験種を提供し、品質の高いサービスを提供できます。併せてイナリサーチは地方で創業したオーナー企業で、人を大切にし技術を磨いてきた、当社と似た企業文化を持っており、企業価値向上のシナジー効果が早期に期待できます。

